

## 第12章 年次計画

### 12-1. 年次計画の考え方

- ・平成28・29年度に策定することとしている史跡長久手古戦場保存活用計画、古戦場公園再整備基本計画に基づき、平成30年度に古戦場公園全体の建築・展示・緑地基本設計および地盤調査（ボーリング等）をまとめる。
- ・平成31年度から32年度前半にかけて建築・展示・緑地実施設計を、平成31年度からガイダンス施設等の建築・緑地工事を開始する。
- ・平成32年度後半から展示工事を開始し、平成33年度には、西側ゾーンの供用を開始する。
- ・平成33年度は展示工事及び緑地工事を終了し、平成34年度から古戦場公園全体を供用開始する。
- ・武蔵塚及び附については、平成32年度に、基本・実施設計を行い、33年度に整備工事を終了し、古戦場公園の供用開始に併せ、平成34年度に武蔵塚及び附の供用を開始する。
- ・平成34年度は、再整備完了報告書の策定とサイン工事を終了する。
- ・再整備後、利用状況や古戦場環境の推移、および市民参画型運営管理の進捗を見つつ、古戦場公園の供用開始から約10年後の平成43年度に、改めて国指定史跡長久手古戦場の計画の見直しを行なうものとする。

### 12-2. 年次計画予定表

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
史跡長久手古戦場保存活用計画		■					
古戦場公園再整備基本計画	■						
古戦場公園再整備基本設計(建築・展示・緑地)			■				
古戦場公園実施設計(建築・展示・緑地)				■	■		
現地調査(ボーリングなど)			■				
古戦場公園工事(建築・展示・緑地)					■	■	公園 供用開始
武蔵塚及び附基本・実施設計					■		
武蔵塚及び附整備工事						■	附 供用開始
サイン工事(長久手古戦場及び附)						■	
再整備完了報告書作成							■

※ 年次計画予定表のとおり、今回の整備工事については、平成34年度に完了を予定している。その後、社会情勢等の変化により見直し等の必要性が生じた場合、その部分については新たに計画を策定し、実行することとする。